

看護教員のためのアクティブラーニング(AL)入門 ー講義にALを組み込むー

■講師

小林 忠資（愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 特任助教）
名古屋大学教育学部卒業。同大学院教育発達科学研究科教育科学専攻満期退学。名古屋大学
高等教育研究センター研究員等を経て、2016年より現職。専門は、大学教育論、比較教育。
「アクティブラーニング入門セミナー」などの研修で講師を担当。著書に、『看護教育実践
シリーズ第3巻 授業方法の基礎』（共編著）、『看護のための教育学』（共編著）、『看護現場
で使える教育学の理論と技法』（分担執筆）、『アクティブラーニング』（分担執筆）などがあ
る。

■プログラム概要

アクティブラーニングという用語は新しいものです。しかし、具体的な技法をみると、
看護教育において昔から取り組まれていたものもあります。たとえば、実習で経験を通して
学習していく方法は、まさにアクティブラーニングの一つといえます。演習や実習では既に
取り組まれてきましたが、今、求められているのは、講義にアクティブラーニングを組み込
むことではないでしょうか。

本プログラムでは、看護分野の講義にアクティブラーニングを組み込むうえでの課題と
工夫について考えていきます。参加者の皆さんの実践例や実践での工夫も紹介いただく予
定です。講義のなかにアクティブラーニングを効果的に組み込むための実践知を共有しま
しょう。

主に看護教員を対象としたプログラムです。しかし、アクティブラーニングを活用して講
義と臨床をいかに結びつけるかという課題は、他の医療・保健分野も共通して抱えています。
アクティブラーニングに関心をもつ他の医療・保健分野の教員の受講も歓迎します。

■準備物や事前課題

ご自身の講義でのアクティブラーニングの実践を振り返ってみてください。

■主な受講対象

- ・講義にアクティブラーニングの技法を組み込みたいと考えている看護教員。
- ・既に講義にアクティブラーニングの技法を組み込んでいる看護教員。
- ・アクティブラーニングに関心をもつ看護分野以外の医療・保健分野の教員。

■本プログラムの到達目標

1. アクティブラーニングの特徴と課題を説明することができる。
2. 自身の講義に組み込むことのできるアクティブラーニングの技法を選択することができる。
3. 効果的な学習課題をつくることができる。

■日時・場所

日時：平成29年8月25日（金）13：00～15：00

場所：徳島大学常三島キャンパス